

## 社会福祉分野で活動する海外のNPOに助成を決定

公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団（理事長 二宮雅也、以下「損保ジャパン日本興亜福祉財団」）は、2017年度海外助成金として、ASEAN加盟国またはインドで社会福祉活動を行う非営利団体の6団体に合計約480万円の助成を行うことを決定しました。助成先は別紙のとおりです。

### 1. 海外助成の概要

損保ジャパン日本興亜福祉財団は、国内で実施している助成制度を発展させ、海外（特に開発途上にある国・地域）の社会福祉の向上を目的に、2010年から「海外助成」を実施しています。

本助成は、募集対象国に在住する日本企業の現地駐在員の推薦にもとづき、募集対象国において、社会福祉分野の非営利団体が行う活動を対象としています。

なお、本年度の募集対象国はASEAN加盟国（ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム）、インドとなっています。

### 2. 助成金贈呈式の開催予定について

助成金の贈呈式は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社の現地法人等と協力のうえ、助成先にて2018年3月末までに順次実施する予定です。

#### <損保ジャパン日本興亜福祉財団について>

損保ジャパン日本興亜福祉財団は、損保ジャパン日本興亜株式会社の出捐を受け、社会貢献活動の一翼を担う財団として設立された公益法人です。同財団の主な活動は本助成のほか、社会福祉・社会保険・損害保険・ジェロントロジーに関する研究助成や研究会・講演会の開催、わが国における優れた社会福祉学術文献の表彰（「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」）およびこの受賞者による講演会・シンポジウムならびに介護福祉士養成のための奨学金の給付などを行っています。

以上

## 【助成先一覧】

「海外助成」の助成先一覧

国	団体名	助成金の使途	助成金額
インドネシア	Lembaga Kesewadayaan Masyarakat Panca Karya (LKM パンチャ カルヤ)	農産物生産における加工技術トレーニングや、観光事業における技術トレーニングなどを実施する多目的訓練所を建設する。	100,000,000 IDR (約 83 万円)
マレーシア	Kiwanis Down Syndrome Foundation	就学前のダウン症幼児施設での屋外庭園の整備を通じ、自然とふれあい活動する場の提供をする。	30,000 MYR (約 83 万円)
マレーシア	Yayasan Generasi Gemilang	貧困の連鎖を生み出さないよう、貧困家庭の児童に教育・食事・制服等の提供をする。	30,000 MYR (約 83 万円)
ミャンマー	Disabled People's Development Organization (DPDO)	障害者の日常生活を補助する補装具の購入や、その他日常生活支援および情報提供など社会参加に対する支援を行う。	8,210,000 MMK (約 68 万円)
フィリピン	Gawad Kalinga Community Development Foundation, Inc.	貧困層の自立化を目指し、ストリートキッズや紛争地域、公立学校の子どもたちに対して栄養価の高い昼食などを食料支援する。	382,500 PHP (約 86 万円)
シンガポール	Muscular Dystrophy Association (Singapore) (MDAS)	筋ジストロフィー患者向けに毎日の学校通学と定期的な病院での検診が受けられるよう、特殊車両の手配を支援する。	10,000 SGD (約 84 万円)